

◆日本沙漠学会第 118 回理事会 議事概要

日 時：2015 年 1 月 10 日（土）15:00～17:30

場 所：東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科バイオロボティクス研究室内木工室

出 席：小島紀徳（会長），吉川 賢，渡邊文雄（以上，副会長），川端良子，酒井裕司，白石雅美，鈴木伸治，田島 淳，田中 徹，豊田裕道，森尾貴広，矢沢勇樹（以上，理事），中村 徹，高橋新平（以上，監事），安部征雄，石川祐一，牛木久雄，佐藤周一，島田沢彦，藤巻晴行，的場泰信（以上，オブザーバー）

委 任：吉崎真司（理事）

I. 審議事項

1. 第 117 回議事録要旨確認

- ・メールにて審議済。確認され，学会 HP に掲載することとした。

2. 平成 27（2015）年度第 26 回学術大会（秋田）について

- ・石川評議員（大会実行委員会事務局）から準備の進捗について報告があった。
- ・秋田大学との共催とすること，会場はカレッジプラザ（明德館ビル 2F）を予定していること，公開シンポジウムの内容，事前参加登録・総会委任状について，非会員の事前参加登録や当日入会の対応について，大会前日に拡大編集委員会を開催すること，を確認した。

3. 平成 27（2015）年度秋季シンポジウムについて

- ・鈴木理事より準備の進捗について報告。10 月もしくは 11 月の土曜日の午後，NTC コンサルタンツ会議室（ハーモニータワー 20F）にて開催予定。会場の許容人数が十分か要検討。

4. 平成 28（2016）年度学術大会について

- ・藤巻会員より挨拶と連絡があり，引継ぎについて確認された。5 月下旬，鳥取大学にて開催予定。

5. 2016 年度秋シンポジウムについて

- ・つくば大学が主催することについて提案がなされ，担当を森尾理事とすることが承認された。東京キャンパスで開催される見込み。

6. DT XII エジプトについて

- ・小島会長より，第 1 報が告示されたこと，詳細は追ってアナウンスされる旨報告があり，確認された。学会 HP にリンクを掲載済。2015 年 11 月 16～19 日カイロ（エジプト）にて開催予定。要旨締切：2015 年 6 月 1 日，原稿締切：2015 年 9 月 15 日。Int. Advisory Committee に酒井理事を推挙することが提案され，承認された。

7. おあしす記事の確認

- ・学会誌 24 (3) に収録予定の [おあしす] の内容について確認した。学会 HP にも掲載済。

8. その他

(1) 学会誌の掲載記事の転用と分科会記事の掲載について

- ・田島理事（沙漠工学分科会長）より，東京農業大学沙漠に緑を育てる会が発行する記念誌について，学会誌に過去に掲載された報文が転用されること，またこの記念誌は，沙

漠工学分科会第 29 回講演会（2014 年 12 月 5 日開催，東京農業大学沙漠に緑を育てる会との共催）の講演内容も含んでおり，同一の内容を学会誌に小特集として掲載することについて審議され，二重投稿とならないよう，再掲である旨の但し書きをすることを条件に承認された。

(2) 学会誌の掲載内容（記事）の充実について

- ・小特集を査読付き論文として掲載していく方向について提案がなされた。J-Stage の利用が投稿数の増加につながるよう取り組んでいくことが確認された。ただし，年 4 報を確実にする必要がある。

(3) 日本農学会への加盟について

- ・矢沢理事から説明があり，審議した。学会内で加盟への機運の高まりがあれば再度検討することとした。

II. 報告・確認事項

1. 委員会報告

(1) 編集委員会

- ・論文・報文が学会誌 25 (1)より J-Stage に掲載されることに関連し，投稿規定と内規を改正する必要がある。編集委員会が財務と協調して原案をまとめ，4 月の理事会で審議することとした。ICAL2 の発表論文については分冊の可能性があることが報告された。

(2) 財務委員会

- ・現在の会員数について報告があった。378 名（名誉 5 名，正 314 名，学 58 名）。入金
の状況についても報告された。

(3) 企画委員会

- ・次々年度以降の学術大会および秋季シンポジウム開催地について検討した。候補地として千葉工大や成蹊大等の提案があった。
- ・2016 年には ICAL3 が開催される予定。開催地候補としてトルコが挙げられている。

(4) 総務

- ・会員へのお知らせについて，2014 年 10 月より，E メールでも連絡しているが，会員が学会に登録している E メールアドレスのうち，数十件ほど不達となる場合があり，〔おあしす〕と学会 HP に登録 E メールアドレスの確認記事を掲載することとした。

2. 分科会報告

(1) 乾燥地農学分科会

- ・2014 年 12 月 20 日開催のシンポジウム「東北復興支援シンポジウム」について報告があった。

(2) 沙漠工学分科会

- ・2014 年 12 月 5 日開催の共催講演会「東京農業大学沙漠に緑を育てる会 20 周年記念シンポジウム」について報告があった。

(3) 沙漠誌分科会

- ・2014年12月5日開催の研究会「世界の半乾燥地における家畜糞利用」について報告があった。また2015年1月31日開催予定の研究会「熱帯地域における酒と発酵食品」について案内があった。

(4) 風送ダスト

- ・とくになし。

3. その他

(1) 日本土壌肥料学会「土壌教育に関する要望書」への賛同依頼について

- ・小島会長から賛同したとの報告があった。

(2) 今後の理事会日程

- ・第119回理事会・評議員会は、2015年4月17日（金）とする。
- ・第120回理事会は、2015年7月17（金）とする。
- ・第121回理事会の開催日として2015年10月16（金）が、第122回理事会の開催日として2016年1月8日（金）が提案された。

以上